

小石川消防団救助技術大会を実施

6月4日(日)、教育の森公園にて、令和5年度小石川消防団救助技術大会を行いました。



大地震に伴い家屋が倒壊し、逃げ遅れ者が発生したということに付随した様々な想定が事前に付与され、各分団は大会当日まで、どうすればより安全かつ迅速な救助活動および消火活動を実施できるのか試行錯誤しながら、東京消防団e-ラーニングシステムなども活用して訓練に励みました。

当日は各分団とも訓練の成果を存分に発揮し、チェーンソーやストライカー、油圧ジャッキなど各種資器材の確実な運用による救助活動や、島田折りにしたホースの展張による、障害物の先にある火点への消火活動を実施しました。

審査の結果、第5分団が昭和62年(1987年)以来36年ぶりに優勝、第4分団が準優勝、第6分団が第3位となり、成澤文京区長をはじめご臨席いただいた皆様よりご高評を賜りました。

震災時におけるさらなる救助技術の向上を目的として、来年度も救助技術大会を開催することに決まりました。団員一同、地域防災にいっそう貢献していけるよう、今後とも訓練に励んでまいります。



第五消防方面・文京区合同総合水防訓練に参加

5月19日(金)、教育の森公園にて、第五方面内の7つの消防署をはじめ、小石川・本郷消防団、文京区職員、町会・自治会、災害時支援ボランティア等が参加した合同総合水防訓練が行われました。

台風の接近に伴う局地的な豪雨により、神田川が危険水位に達するとともに家屋の倒壊が発生したという想定のもと、参加各隊は新型連結水のう工法等の様々な水防活動を展開し、小石川消防団は消防署隊と連携して積み土のう工法を行いました。



消防団員街頭募集活動を実施

4月18日(火)と7月19日(水)、後楽園駅、茗荷谷駅、護国寺駅、千石駅の4か所にて、夜の帰宅時間帯に合わせてリーフレットを配布する、消防団員街頭募集活動を行いました。



全国的に消防団員数が減少し、地域防災力の低下が危惧されている中、この活動は消防団員が団員の増加を目的に継続的に行うことで、消防団を知っていただく機会にもなり、これをきっかけに入団される方もいらっしゃるから意義のある活動となっています。

方面訓練場と消防学校にて消火活動訓練を実施

7月8日(土)、北区西ヶ原にある東京消防庁第五消防方面訓練場にて、移動式バラックを活用した建物への放水や、耐火訓練棟を活用した高層建物へのホースの吊り上げ訓練等を行いました。

また、7月29日(土)には、渋谷区西原にある東京消防庁消防学校にて、建物火災消火訓練施設(AFT)を活用した放水や、耐火訓練棟を活用した高層建物への放水訓練等を行いました。

AFT訓練では、出火後、天井付近があっという間に800℃を超える様子を目の当たりにし、実火災の危険性や防火装備の重要性を実感するなど、両日とも、実際の消火活動に即した有意義な訓練となりました。

